

事業所名		放課後等デイサービスあおぞら(単位2)				支援プログラム		作成日		令和7	年	3	月	28	日
法人（事業所）理念		安心安全で楽しい余暇時間のご提供を目指します。													
支援方針		支援を行う前に、個々の障がいの程度、必要な支援内容、目標を明確にするために、個別支援計画（ISP: Individual Support Plan）を作成します。 障がい者本人のニーズを中心に、家族や医療、福祉、教育などの関係者が協力して支援計画を立てます。 日常生活の基本的な部分、例えば食事、入浴、排泄、移動の支援を行います。言語の障がいや知覚の障がいがある場合、補助的なコミュニケーション手段（絵カードやAAC装置など）の導入を考慮します。													
営業時間		10	時	00	分から	19	時	00	分まで	送迎実施の有無		あり			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	医療・健康管理: 重心障がい者は多くの場合、身体的なケアが必要です。体温、血圧、呼吸などを定期的にチェックし、異常があれば迅速に対応する体制を整えます。 自立支援: 日常生活の中でできるだけ自分でできることを促進するプログラムを提供します。たとえば、食事の準備や掃除、着替えなど、できる範囲で自立した生活をサポートします。 医療的支援: 障害によっては医療的なケアが必要な場合があり、指示書の内容に従い治療を提供します。 言語療法: 言語能力の発達を促すために、言語療法士が発音や会話力の向上をサポートします。													
	運動・感覚	運動療法: 運動療法は、身体の動きを促進し、筋力、バランス、協調性を高めるプログラムです。特に、発達障害や運動能力に課題を持つ子どもに効果的です。簡単な体操やジャンプ、ボールを使ったゲーム、バランスを取る練習などを提供します。 感覚統合療法: 感覚情報（視覚、聴覚、触覚、前庭感覚、固有感覚など）を効果的に統合し、適切に反応する能力を育むための支援です。感覚過敏や感覚鈍麻を持つ子どもたちに対して、感覚刺激を調整し、感覚の調和を図る活動を行います。揺れるブランコやトランポリンでの活動、さまざまな触感を感じる遊び、音や光を使った感覚刺激の調整などを提供します。													
	認知・行動	認知リハビリテーション: 記憶力、注意力、問題解決能力などの認知機能を向上させる訓練です。特定の課題に取り組むことで、認知機能を強化し、生活の質を向上させます。 行動療法: 行動のパターンを理解し、望ましくない行動を減らし、適切な行動を促進するための療法です。 自立支援プログラム: 日常生活の自立を支援するための訓練やサポートを提供します。													
	言語コミュニケーション	コミュニケーションツール: 重心障がい者は言葉でのコミュニケーションが難しい場合が多いため、絵カードやタブレットなどを使って意思疎通を図ります。 非言語コミュニケーション: 手や顔の表情、目の動きなどでコミュニケーションを取る方法を支援します。 音楽療法: 音楽を通じて感情を表現することが、コミュニケーションスキルの向上に役立つ場合があります。音楽療法はリラックス効果を高め、コミュニケーションを楽ししさや感覚で促進します。													
	人間関係社会性	コミュニケーション能力の向上支援: 身体障害者が社会的な場面で自信を持って行動できるように、ソーシャルスキルを教えるトレーニングを行うことが役立ちます。例えば、挨拶の仕方、会話の進め方、非言語的なコミュニケーション（ジェスチャーや表情の使い方）を向上させます。 テクノロジーの活用: 車椅子や歩行補助具、コミュニケーション支援のためのアプリやデバイスを提供し、身体的な制約を軽減することも重要です。													
家族支援		延長サービス 年2回のモニタリング							移行支援		学校、関係機関との連携				
地域支援・地域連携		地域連携ネットワークの構築: 地域内の学校、医療機関、福祉施設、NPO団体などが協力し、地域の課題解決に取り組むネットワークを構築します。							職員の質の向上		定期的な研修 毎日のミーティング				
主な行事等		月1回・・・調理週間 季節行事・・・夏祭り、プール遊び、ハロウィンパーティー、クリスマスコンサート 長期休み・・・連携先の福祉施設との交流活動													